

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	： 塩化イリジウム(IV)酸アンモニウム
供給者の会社名称	： 株式会社フルヤ金属
住所	： 東京都豊島区南大塚2-37-5
電話番号	： 03-5977-3388
FAX番号	： 03-5977-3371
緊急連絡先	： 03-5977-3388

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性
環境に対する有害性

： 区分に該当しない
： 急性毒性(経口) 区分4
： 分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル

注意喚起語

： 警告

危険有害性情報

： 飲み込むと有害

注意書き

： 取扱い後は接触部位をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。

： 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

： 施錠して保管すること。

： 内容物/容器を国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に関係しない又は

： 粉末または顆粒状の場合、空気中の酸素と反応して爆発する場合がある。

GHSで扱われない他の危険有害性

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

： 化学物質

化学名又は一般名

： 塩化イリジウム(IV)酸アンモニウム

化学特性(化学式等)

： $(\text{NH}_4)_2\text{IrCl}_6$

CAS番号

： 16940-92-4

濃度及び濃度範囲

： ≥99%

官報公示整理番号

： 1-1-723

4. 応急措置

吸入した場合

： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

皮膚に付着した場合

： 気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。

眼に入った場合

： 気分が悪いときは、眼科医の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合

： 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

急性症状及び遅発性症状の

： データなし

最も重要な兆候

応急措置をする者の保護

： 救助者は、状況に応じて適切な眼、皮膚の保護具を着用する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

： 二酸化炭素、粉末消火剤、乾燥砂。

使ってはならない消火剤	データなし
火災時の特有の危険有害性	加熱により刺激性、腐食性、毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。 粉末または顆粒状の場合、空気中の酸素と反応して爆発する場合がある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火水や希釀水の流出により環境汚染を引き起こさないように注意する。
消火を行う者の保護	消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。状況に応じて呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出区域を隔離し十分に換気を行い、関係者以外の立ち入りを禁止する。作業者は適切な保護具(「8.暴露防止措置及び保護具」を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉塵の吸入を避ける。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響をおこさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法・機材	危険が無ければ漏れを止める。 飛散した物を搔き集め、密閉出来る空容器に回収する。

二次災害の防止策

周辺の着火源をすべて取り除く。
排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
安全取扱注意事項	接触又は飲み込まないこと。 粉塵が発生しないように取り扱う。
接触回避	「10.安定性及び反応性」を参照。
衛生対策	取扱い後に手をよく洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

保管

安全な保管条件	容器を密閉し、換気の良い冷暗所で保管すること。施錠して保管すること。
安全な容器包装材料	破損や漏れのない密閉可能な容器を使用する。 換気の良い場所で保管すること。施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

管理濃度	データなし
日本産業衛生学会	データなし
ACGIH	データなし
設備対策	局所排気装置、全体換気装置、洗眼器、安全シャワー
保護具	
呼吸器の保護具	必要に応じて防塵マスク
手の保護具	保護手袋
目の保護具	保護眼鏡、保護ゴーグル
皮膚及び身体の保護具	保護服、保護靴

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

色	粉末
臭い	黒褐色
融点/凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	上限界 下限界
引火点	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	200°C以上
pH	データなし

動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に僅かに溶ける。
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: データなし
化学的安定性	: 通常の条件での取り扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	: 加熱により刺激性、腐食性、毒性のガス及びヒュームを発生するおそれがある。 粉末または顆粒状の場合、空気中の酸素と反応して爆発する場合がある。
避けるべき条件	: 高温条件、直射日光、全ての着火源。
混触危険物質	: 強酸化剤
危険有害な分解生成物	: 塩化水素、塩素、窒素酸化物、アンモニア、イリジウム酸化物。

11. 有害性情報

急性毒性	: 区分4(経口)
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない
呼吸器感作性	: 分類できない
皮膚感作性	: 分類できない
生殖細胞変異原性	: 分類できない
発がん性	: 分類できない
生殖毒性	: 分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	: 分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	: 分類できない
誤えん有害性	: 分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性	: 分類できない
残留性・分解性	: 分類できない
生物蓄積性	: 分類できない
土壤中の移動性	: 分類できない
オゾン層への有害性	: 対象外 モントリオール議定書の附隨書に列記されていない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 内容物や容器は国際/国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄する。 廃棄する時は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。
汚染容器及び包装	: 容器はリサイクルするか、地域の基準に従い廃棄する。

14. 輸送上の注意

国際規制	
国連番号	: 該当しない
品名	: 該当しない
国連分類	: 該当しない
容器等級	: 該当しない
海上規制情報	: IMOの規定に従う。
航空規制情報	: ICAO/IATAの規定に従う。
国内規制	
陸上輸送	: 消防法、労働安全衛生法、毒物及び劇物取締法等に該当する場合は、それぞれの該当法 律に定める運送方法に従うこと。
海上輸送	: 船舶安全法に定めるところに従うこと。

航空輸送	: 航空法に定めるところに従うこと。
特別の安全対策	: 運搬に際しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

15. 適用法令

労働安全衛生法	: 該当しない
化学物質排出把握管理促進法	: 該当しない
毒物及び劇物取締法	: 該当しない
消防法	: 該当しない

16. その他の情報

参考文献

- 1) JIS Z7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
- 2) JIS Z7253:2019 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法
- 3) 製品評価技術基盤機構 (<http://www.nite.go.jp/index.html>)
- 4) 國際化学物質安全性カード(ICSC)
- 5) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針(2019年6月)
- 6) 厚生労働省 職場の安全サイト (<http://anzeninfo.mhlw.go.jp/index.html>)
- 7) 許容濃度等の勧告、日本産業衛生学会
- 8) TLVs and BEFs、ACGIH
- 9) 緊急時応急措置指針、日本化学工業会(2012)
- 10) 経済産業省 事業所向けGHS分類ガイドライン(令和元年度改訂版 Ver. 2.0)
- 11) Merck Index 15th
- 12) HSDB (Hazardous Substances Data Bank)
- 13) ECHA (EUROPEAN CHEMICALS AGENCY)

声明

: 本SDSは、現時点での入手出来る資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、情報の正確さを保証するものではありません、すべての化学品には未知の有害性がありうるため、取扱には細心の注意を払ってください。